

## 会 議 録

|                        |  |  |    |
|------------------------|--|--|----|
| 会議名<br>(付属機関等名)        | 令和4年度 第2回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会<br>(環境審議会部会)  |  |    |
| 事務局(担当課)               | 市民環境部環境衛生課   |  |    |
| 開催日時                   | 令和4年11月11日(金) 午後1時30分  |  |    |
| 開催場所                   | 川西市役所 4階 庁議室   |  |    |
| 出席者                    | 委員   | 出席:武田委員長、信田委員、牛尾委員、服部委員、足立委員、<br>田中委員  |    |
|                        | その他  | 産業振興課 課長 山口、文化・観光・スポーツ課 課長 稲治、都<br>市政策課 主任 横田、公園緑地課 課長 足立、教育保育課 主<br>査 大下、アジア航測(株) 川端、菊池 |    |
|                        | 事務局  | 市民環境部 部長 岡本、副部長 人見、環境衛生課 課長 中<br>塚、課長補佐 増井、主査 大嶋、主事 高田                                   |    |
| 傍聴の可否                  | 可  | 傍聴者数   | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の<br>場合は、その理由 |  |  |    |
| 会議次第                   | 審議事項<br>1 「生物多様性ふるさと川西戦略」第1期計画の総括について<br>2 「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂概要及び今後のスケジ<br>ュールについて<br>3 「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂内容について<br>4 「生物多様性ふるさと川西戦略」のアンケート調査の実施について |  |    |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>会議結果</p> | <p>1 「「生物多様性ふるさと川西戦略」第1期計画の総括について」他3件について、委員に対して説明を実施して意見を頂戴した。</p> |
|-------------|---|

## 審議経過

|  |
|--|
| <p>別紙「令和4年度 第2回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会議事録」のとおり</p> |
|--|

## 令和4年度 第2回生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会 会議録

### 1 開催日時

令和4年11月11日(金) 13:30~15:30

### 2 場所

川西市役所4階 庁議室

### 3 出席者

(審議会委員) 武田義明委員長

(専門委員) 信田修次委員、牛尾巧委員、服部保委員、足立隆昭委員、田中廉委員、

(施策推進担当員) 山口産業振興課長、稲治文化・観光・スポーツ課長、横田都市政策課主任、足立公園緑地課長、大下教育保育課主査

(事務局) 市民環境部: 岡本部長、人見副部長

環境衛生課: 中塚課長、増井課長補佐、大嶋主査、高田主事

アジア航測: 川端、菊池

(欠席) 堀内都市政策課長、中津留道路整備課長(道路補修担当)、寺田社会教育課長、下内教育保育課長、福本教育推進部参事兼教育保育課長(研修担当)

### 4 配布資料

- ・令和4年度第2回川西市環境審議会 部会(生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会)名簿
- ・令和4年度 第2回川西市環境審議会部会(生物多様性ふるさと川西戦略委員会)座席表
- ・【資料1-1】生物多様性ふるさと川西戦略 進捗状況調査(総括)
- ・【資料1-2】生物多様性ふるさと川西戦略 評価指標(総括)
- ・【資料2】 「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂について
- ・【資料3】 スケジュール
- ・【資料4】 今後のスケジュールについて(案)
- ・【資料5】 生物多様性ふるさと川西戦略変更事項
- ・【資料6】 【生物多様性ふるさと川西戦略 図表リスト】2015年(平成27年)3月発行
- ・【資料7】 「生物多様性ふるさと川西戦略のアンケート」について
- ・【資料7-1】生物多様性に関する市民アンケート(案)
- ・【資料7-2】生物多様性に関する小学生アンケート(案)
- ・【資料7-3】生物多様性に関する事業所アンケート(案)

## 5 会議内容

| 担当                       | 内容   |
|--------------------------|--|
| <b>事務局説明</b>             |  |
| 司会（事務局）                  | <p>それでは、定刻になりましたので只今より令和4年度第2回川西市環境審議会部会生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会を開催いたします。</p> <p>わたくしは、事務局として司会を務めさせていただきます市民環境部、環境衛生課の高田と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>本日は皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら迅速に進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程宜しくお願いたします。</p> <p>本委員会は、会議公開制度により傍聴できるようになっております。また、会議録を迅速かつ適正に作成するため、会議の状況を録音させていただいておりますのでご了承願います。</p> <p>それでは、お手元に用意しております本日の資料の確認をお願いします。</p> <p>まず、本日の次第の後、専門部会の名簿（A4縦）、本日の座席表、右肩に記載しております資料1-1生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査（総括）資料1-2生物多様性ふるさと川西戦略評価指標（総括）資料2計画の改訂について、資料3 2カ年の全体スケジュール、資料4今後のスケジュールについて（案）資料5生物多様性ふるさと川西戦略変更箇所（A4横）資料6生物多様性ふるさと川西戦略 図表リスト、資料7「生物多様性ふるさと川西戦略のアンケート」について、資料7-1から7-3がそれぞれ市民向け、小学生向け、事業者向けのアンケート案でございます。</p> <p>それでは、ここで、市民環境部長の岡本からごあいさつ申し上げます。</p> |
| <b>1. 市民環境部長あいさつ</b>     |  |
| <p>部長</p> <p>司会（事務局）</p> | <p>皆さんこんにちは。市民環境部長の岡本でございます。本日は第二回生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会にご出席賜りまことにありがとうございます。本日は第一計画の総括をさせて頂くということで、事業担当課長、もしくは担当者に出席していただいておりますので、事業の進捗状況であるとか、そういったところで忌憚なきご意見いただいでですね。活発な議論ができればと考えております。よろしくお願いたします。又、前回の帰りの際に、黒川里山センターについて説明させていただきました。現在の進捗状況ですが、ウクライナの侵攻等に伴ってですね。燃料費が高騰であるとか、円安が生じておりまして、木材価格が高騰しているというような状況がございまして、入札が不調に終わっております。改めて仕切り直しを考えておりまして、今年度中にもう一度入札にチャレンジして、来年度中に完成を進めていきたいなというふうに考えておりますので、状況については適宜ご報告できるかと考えております。本日はよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。続きまして、川西市環境審議会部会（生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会）委員長の武田様よりごあいさつをいただきます。</p>  |
| <b>2. 委員長あいさつ</b>        |  |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>委員長</p> <p>司会（事務局）</p>  | <p>こんにちは。川西市環境審議会部会（生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会）委員長の武田です。</p> <p>委員の皆様には、本市の環境行政をはじめ市政全般にわたりまして、ご理解、ご協力をいただいておりますことに、感謝を申し上げます。また、本日は公私にわたりお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。さらに今回、環境以外の全部の局からのご出席を頂いております。生物多様性は環境の部署だけでできるものではありません。一番関わっているのは現場の方で、そういうところの意見はかなり重要なものとなっておりますので、やっぱり現場の声を聴いてですね、現場でどういうふうにしていったらいいか、そういうことの意味を頂けたらと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>武田委員長ありがとうございます。</p>  |
| <p><b>3．委員長及び各委員紹介</b></p> |  |
| <p>司会（事務局）</p>             | <p>それでは配付資料の令和4年度第2回川西市環境審議会部会（生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会）名簿をご覧ください。委員の皆様を順番に紹介させていただきます。お名前を順にお呼びいたしますので、その場で一言ずつお願いいたします。</p> <p>1番 武田委員長です。2番 信田（しのだ）委員です。3番 牛尾委員です。4番 服部委員です。5番 足立委員です。6番 田中委員です。</p> <p>そして、施策推進担当員としまして、戦略の各施策の担当課長が出席しております。産業振興課の山口課長です。文化・観光・スポーツ課の稲治課長です。都市政策課堀内課長の代理出席の横田主任です。公園緑地課の足立課長です。教育推進部福本参事と教育保育課下内課長の代理出席の教育保育課の犬下主査です。名簿にありません道路整備課道路補修担当課長の中津留と社会教育課長の寺田は本日欠席でございます。</p> <p>続きまして事務局の紹介をさせていただきます。市民環境部の岡本部長です。市民環境部の人見副部長です。環境衛生課の中塚課長です。環境衛生課の増井課長補佐です。環境衛生課の大嶋主査です。また、このたび戦略の改訂並びに第3次川西市環境基本計画の策定をお手伝いいただくアジア航測株式会社の川端係長、菊池です。</p> <p>それでは、ここからの議事進行は、委員長の武田様にお願いしたいと思います。審議の中で、意見のある方は挙手いただきますようお願いいたします</p> <p>それでは武田委員長どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| <p><b>4．審議事項</b></p>       |  |
| <p>委員長</p> <p>事務局</p>      | <p>それでは事務局より、次第に沿ってご説明させていただきますので、ご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。それでは、次第4番の審議事項に移りたいと思います。環境衛生課長より、本日の会議の概要についてご説明をお願いします</p> <p>それでは、本日の会議の概要についてご説明申し上げます。お手元の次第をご覧くださいませでしょうか。次第4の審議事項といたしまして、本日は4点ございま</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>委員長</p>                                       | <p>す。</p> <p>1点目が「生物多様性ふるさと川西戦略」第1期計画の総括についてでございます。</p> <p>現計画の中間見直しをするにあたりまして、施策の進捗状況を評価しておりますので、【資料1-1】【資料1-2】で事務局からご報告させていただき、その後に委員の皆様からご意見をいただくこととしております。</p> <p>2点目が「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂概要及び今後のスケジュールについてでございます。計画改訂概要について、【資料2】で、今後のスケジュールを【資料3】【資料4】で事務局からご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、3点目は、「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂内容について、どうしても改訂しなければいけない部分、時代の流れで変わっていく部分などをリストアップさせていただきまして、それを皆様にご説明させていただいた上でご意見をいただきたいと思っております。【資料5】【資料6】を用いて説明させていただきたいと思っております。</p> <p>最後に、4点目といたしまして、「生物多様性ふるさと川西戦略」のアンケート調査の実施につきまして、アンケートの具体的概要をお示しいたしまして委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。以上が本日の会議の内容でございます。委員の皆様の意見を頂戴しまして、迅速に進めて参りたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。それでは早速、次第4審議事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略第1期計画の総括について」、事務局よりご報告いただきます。よろしくお願いたします。</p> |
| <p>(1)「生物多様性ふるさと川西戦略」第1期計画の総括について【資料1-1、1-2】</p> |  |
| <p>事務局</p>                                       | <p>それでは、次第4審議事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略第1期計画の総括について」ご説明いたします。お手元の資料1-1、1-2をご用意ください。</p> <p>まず、資料1-1をご覧ください。生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査の総括についてであります。これは、戦略を改訂するにあたり、平成27年度から令和3年度までの施策に対する自己評価、今後の方向性を「A・B」の二段階で示したものでございます。前回5月の委員会で配布したものや8月18日付でメールにて送付いたしました、令和3年度生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査に記載されておりました、各課の自己評価はAからDで評価しておりましたが、今回は平成27年度から令和3年度までの複数年にわたります評価としまして、自己評価と今後の方向性に分けて、それぞれAとBで表示しております。また、評価の右側の欄、「成果と課題」「今後の方向性」につきましては、以前にお渡ししたものと同内容でございますが、一部修正している箇所がございます。</p> <p>では、進捗状況調査の総括でございますが、全30施策の内、自己評価がA評価(目標に向かって事業を実施することができた)が25件、残り5件の内、事業が終了したものや部署再編等で担当部署でなくなったものを除いて、3件がB評価(実施できていない)になっております。</p>  |

4つの基本戦略ごとに見ていきますと、まず1ページの基本戦略1「環境教育の充実による「ふるさと川西」意識の熟成および生物多様性教育」「児童・生徒を対象とした環境教育の実施」「教職員や市民を対象とした研修の実施」2から5の教育保育課の施策では小学生・中学生・教職員を対象とした「環境体験」「里山体験学習」など川西市の自然特性を活かした独自の環境教育を実施しています。こちらの施策は自己評価がA評価、「今後の方向性」もA評価(次年度以降は実施する。もしくは今年度に引き続いて実施する。)になっています。

次に、2ページの基本戦略2「自然に関する情報発信による生物多様性保全の普及・啓発」7、8環境衛生課担当施策の「自然環境情報の発信」「国や兵庫県が作成する上位計画などの広報、普及啓発」では、川西の自然活動団体の活動や市が主催する生物多様性に関する展示会・シンポジウムなどの情報を広報誌やホームページ等を用いて市内外に広く発信することができました。

また、9文化・観光・スポーツ課担当施策の「観光の推進」では、観光マップや川西学検定の実施などを通して市の自然や歴史、市内の観光地のPRを実施しています。

これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もA評価になっています。ただし、10産業振興課担当施策の「地産地消の推進」では、川西市の特産品であるイチジク、クリ、モモなどの即売会が新型コロナウイルス感染症対策のため令和3年度は実施できていないため、自己評価がB評価になっております。今後は即売会の他に、川西の特産品を販売している販売店情報をHP等で発信する施策を新しく行っていくため、「今後の方向性」はB評価になっております。

また、3ページの13環境衛生課担当施策の「再生可能エネルギーの普及啓発」では、市役所本庁舎南側壁面に太陽光発電システムを設置し、1階市民課前モニターで地球温暖化対策として再生可能エネルギーの普及促進のための啓発を進めていましたが、モニターの設置場所付近が現在、他部署の一時的な事務スペースとなっているためモニターを活用できていない状況のため、自己評価がB評価になっております。ただし、他部署の一時的な事務スペースが撤去されれば、活用できるため、「今後の方向性」につきましては、A評価になっています。

続きまして、3ページ基本戦略3「生物多様性保全の取り組みの強化」では、16環境衛生課担当施策の「外来種対策の推進」で、HPにヒアリやセアカゴケグモの情報を掲載し、市民に注意喚起しております。

また、17社会教育課担当施策の「文化財保存啓発」では、市指定文化財(天然記念物)の新たな指定を推進することができました。

また、4ページ21産業振興課担当施策の「有害鳥獣対策」では、農作物の被害などの防止を目的に、個体数の調整などとしてイノシシやシカの捕獲・処分を実施しました。22産業振興課担当施策の「外来動物対策」では、農作物の被害などの防止、希少種を含めた在来種生態系の保全・回復のため、特定外来生物であるアライグマやヌートリアを対象に捕獲・処分を実施しました。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もA評価になっています。

続きまして、5ページ基本戦略4「各主体の連携による生物多様性保全活動の継続

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>と拡大」では、 24 環境衛生課担当施策の「生物多様性に関する情報交換の場の提供」で、令和元年度まで「川西市生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウム」として講演会やパネルディスカッション( 討論会、意見交換会 ) 団体の活動紹介などを実施しております。また、令和2年度は川西市で活動する自然活動団体を紹介する冊子を作成して、市内の各小学校や公民館などで約200冊配布して市民への周知を行い、令和3年度はアステ川西の6階アステギャラリーにて自然活動団体の活動内容を紹介するパネル展示会を開催し、団体の活動紹介や計画の周知を行いました。</p> <p>また、 29、30 道路整備課、美化推進課担当施策の「NPO などと連携した河川美化の実施」では、市民団体が行う河川の清掃活動により発生した廃棄物の収集、処理を実施しております。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もA評価になっています。資料1-1につきましては、以上でございます。</p> |
| 委員長 | <p>それでは、今の説明について、何かご意見等ございませんか。</p>   |
| 委員  | <p>基本戦略1No.6の「生涯学習の充実」について、コロナで中断していたのを再開するとのことで、我々のようなボランティア団体では、後継者が育たないんですね。「レフネック」や退職された方々から参加してもらう必要があると思いますので、充実して、継続するとのことです。是非やっていただきたいと思います。</p>   |
| 委員長 | <p>後継者問題はどこも抱えている問題だと思いますのでこれを機に積極的にやっていただきたいと思います。</p>   |
| 事務局 | <p>本日社会教育課長が欠席しているのですが、「レフネック」については少し動きがあるかもしれませんので、また確認して報告したいと思います。</p>   |
| 委員  | <p>「レフネック」は現在中止になっているので、今後の方向性で何か新しい構造を作ってやっていくというのであればまだ評価できますが、ここでA評価にするのはおかしいです。</p>   |
| 事務局 | <p>社会教育の担当が欠席しておりますが、全庁的に事業見直しを行っておりまして、その一つに「レフネック」も挙がっておりまして、社会教育の形としての「レフネック」はいったん終わるかもしれないんですけども、また何らかの形で施策を考えていくなど動きがあればまたご報告したいと思います。計画策定までにこういった項目を入れるのであればまた社会教育課と協議をしなければいけませんので、担当者も不在のため、確認して改めてご報告いたします。</p>  |
| 委員  | <p>No.9の観光マップはできているのですが、黒川の里山のことがあまりきちんと記載されていないのではないかとというのが一つと、No.11に「キセラ川西の中央公園内に黒川地区から台場クヌギやエドヒガンの移植に努め」とあるのですが、これ</p>   |



|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | <p>は生物多様性の考え方とまったく反対になる、要は本来そこにあるべきものを持ってきてしまうということで、これはあまり書かない方がいいように思います。JR川西池田駅前のロータリーのクヌギの木を切って台場クヌギにするというのは全く問題ないのですが、どこかから持ってきて何か作ってしまうというのはいかにも今の生物多様性の流れと逆方向になってしまうのでその辺はずした方がいいと思います。</p>  |
| <p>施策推進<br/>担当員</p> | <p>服部委員からおっしゃっていただいた、9番の観光マップについて補足させていただければと思います。こちらにつきまして確かに里山の部分の記載については少なくなっております。ただ、冒頭岡本部長も申し上げましたとおりこれから里山センターができていくということで、生物多様性を発信していく拠点の一つとして位置付けることができると思います。現在観光協会さんの方とも連携して新しい観光マップを作っていこうかという話もありますので、里山といわれる黒川地域にもスポットを当てて我々としてもPRしたいと考えております。</p> |
| <p>施策推進<br/>担当員</p> | <p>No.11の公園緑地課は、施策内容としては確かに言われるとおりキセラの公園の中に里山を新しく作るというのは違和感があるのかなあという風には思っています。ただ、成果と課題の方で言いますと、市民が公園の中で憩いの場として、里山の自然を身近に感じていただけることに関しては成果としてあると考えておまして、この表現が悪いのであれば書き直したいと考えています。この計画内容ってすでに開示されていますか。</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>今回の見直しの中で必要に応じて変更は可能かなと思います。</p>   |
| <p>施策推進<br/>担当員</p> | <p>施策内容の表現については変えさせていただこうかなと思います。<br/>キセラの方で少し里山とふれあえるような機会なのは確かなのかなあという風には思いますし、実際に子どもが遊んでいたりしますので、そのあたりは考えたいと思います。</p>  |
| <p>委員</p>           | <p>キセラに里山を再生させようというのは問題ありません。多額のお金を使ってエドヒガンの大木をもってこようとする自体がおかしいということです。ただエドヒガンを種からそこで育てるということであれば問題ありません。造り方の問題ということです。進捗状況なので、今までの状況を書かざるを得ないので、やむを得ないとは思いますが。来年度以降修正していただけたらと思います。</p>  |
| <p>委員長</p>          | <p>確かに他のところから持ってくるのはまずいだろうと思います。</p>  |
| <p>委員</p>           | <p>2つありまして、1つはNo.2、3、5の服部先生を中心にいろいろ取り組んでいる環境体験学習が定着しています。そういった中で1年生、2年生の生活から始まり、3年生の環境体験学習、4年生の里山体験学習、5年生の自然学習とつなが</p>  |

る系統的な取り組みを川西市ではされているのですが、最近出てきている SDGs の視点というのも本当に大事だと思います。学習体系の中にもきちんと謳って、実践的な活動の中で黒川や学校の身近なフィールドを使って学習をしていく場合に、そういった視点がまず先生方におありなのか、それを受けて具体化していく。低学年には低学年にあったような活動の仕方があるでしょうし、そういった具体を改めて学校現場の方をお願いしたいなという風に思います。

それから当然教職員研修も入ってきます。そう考えますと、専門性を持った方、ボランティアや有志でも良いですが、指導員としてという過程を今後続けていってもなかなか広がらないと思います。ずっと課題となっているのですが、やっぱりそういうこと、環境教育の支援がきちんとできる方や教職員を増やしていくということで研修を打たれていると思うので今後さらに深めていただきたいし、もう少し組織的に、指導される方が年配になられているケースもあり、学校現場では実際に自分の学校での教育活動で精一杯とおっしゃる方も多いですが、一担当が環境教育をやるんだという視点で取り組める資質づくりが必要だと思いますので、そのあたりも考えていただければと思います。

最後に No. 16 の外来種についてで、一庫公園や環境カウンセラーの仕事を通してこの視点が物すごく大事だと思っています。そこにヒアリやセアカゴケグモが出てきているという現実の中で、そのあとどうするかということと侵略的外来生物の中で最も一般的なアメリカザリガニやミシシippiaカミミガメ、ヌートリアなどが猪名川水系でも出ています。キセラ川西せせらぎ公園の水路にもアメリカザリガニが先月 300 匹くらい捕獲されました。これはザリガニ釣りの名目でザリガニの駆除の催し物を開いて 100 人位集まって取っていただいたもので、全部数えたら成体が 300 匹を超えました。そういった状況の一方でホテルを飛ばすというプロジェクトもある中で、アメリカザリガニがそれだけいたら普通の生き物も北小学校の一角にはまだ生息しているゲンジボタルの幼虫やタナゴも全部やられてしまいます。身近な外来種への対応も一緒に考えていただければと思います。

とったあとどうするかも問題です。かわいそうだから、逃がれているんですけども、結果的には 1 匹の成体で 200 個から 1000 個の卵産みます(アメリカザリガニ)ですから繁殖力ものすごいです。その対応は喫緊だと私も思っています。川西のど真ん中にあるキセラの公園がほんとに里山とか自然を生かした公園づくりの一つとしていくのであれば外来種への対応は重要ではないかなと少し思いましたので、ぜひまた考えていただければと思います。

委員長

No. 5 について SDGs の視点も入れてほしいとのことですね。No. 4 や No. 2 にも入ってくるので、そのような視点から考えてほしいということです。No. 16 について、アメリカザリガニは特定外来生物に指定され、駆除の対象となってくるため、その点も含め外来生物の対応をしてほしいと思います。

まずは No. 5 について教育保育課お願いします。

施策推進

SDGs の視点という点ですが、環境体験学習、里山体験学習、トライアルウィーク

|                     |  |
|---------------------|--|
| <p>担当員</p>          | <p>ということで地域の自然、地域の方々のご支援を頂きながら行ってはいるのですが、そういった視点もこれから必要になってくると思います。学校の教育課程でも総合的な学習の時間において SDGs の取り組みをしている学校があることも聞いておりますのでこれから教育保育課としても意識したいと思います。</p> <p>教職員研修の充実ということで、今年度も牛尾先生、服部先生には大変お世話になりまして教職員の研修を実施することができました。その研修内容を担当の先生に留めるのではなく校内でも広めていくことで活動の充実を図りたいと考えております。環境体験学習について、年度末に担当教職員と反省会を開くのですが、専門的なことを教えるのがなかなか難しいという声が上がっています。これに関しましては地域の保全団体の方々と連携をとりながら進めていきたいと思っておりますので今後ともよろしく願いいたします。</p> |
| <p>委員長</p>          | <p>続いて No. 16 について環境衛生課お願いします。</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>外来種については啓発ということで、市民の皆様に対応についてリーフレットを配布しております。実際に駆除しているなどの行動を起こしていることは現在ないという状況でありますので、兵庫県と協力して今後こういった対策ができるかは考えていきたいと思っております。</p>   |
| <p>部長</p>           | <p>牛尾委員から紹介がありました、キセラの公園でアメリカザリガニの捕獲をする活動を行っていただいております。川西市は市民の皆様非常に多彩な活動をしていただいているので、市としてそういった活動を PR していくのが良いと思います。</p>  |
| <p>委員</p>           | <p>小中学生の体験学習について、ボランティア団体と里山体験をしていると思いますが、インパクトは強い方が良いと思いますので、ただ行って遊ぶだけではないほうが良いかと思っております。モリアオガエルがちょうど季節で、子どもにとっても初めてのことで印象に残りやすいのではないかと思います。モリアオガエルは水系と成虫は森林の方へ行きますので、2つの生態系が重要という、生物多様性の方の説明にも利用できますので、学校で考慮すればもう少し効率よく教育できると思っております。</p>  |
| <p>施策推進<br/>担当員</p> | <p>ご意見頂きましてありがとうございます。子供達を指導していく際にそのような視点も伝えられるようにしたいと思います。</p>  |
| <p>委員長</p>          | <p>今後の方向性の部分は、評価がいるのかという気がします。評価は行ったことに対して良かった、悪かったを判断することなので、これから実施することに対する評価は良く分かりません。</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>今後の方向性に対する評価というところは表現の修正が必要と考えます。計画改訂していく中で指標の整理をしなければなりませんので、今後どうしていくかを振</p>   |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>り分けて新しい指標に差し替えるなどの視点で担当課と協議したいという意味を含めています。委員長のおっしゃるとおり、方向性の評価、まだやってもいいことに対する評価というのはどうかと思います。</p>   |
| <p>委員長</p> | <p>今後の方向性のところは、これから寄せられる意見を基に書いていただければ評価する必要はないかと思います。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>計画策定の際に、今後どうしていくというような具体的な内容を記載させていただきます。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>今後の方向性というところで、今は現在の川西戦略の進捗状況をどう評価するかという段階なので、ここでは述べないほうが良いです。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>ご意見として頂戴します。あくまでも今の計画の指標に対する方向性という比較的狭い意味合いなので随時改訂に関してご意見があれば頂ければと思います。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>いま、クビアカツヤカミキリという外来種が出ており、西宮市の環境審議会でも問題になっていました。芦屋市にも出ており、これが出ると桜が一発でアウトになります。川西市はエドヒガンなど桜の名所がたくさんあるので、注意した方が良いでしょうと思います。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>今後注意していく必要があると思うのですが、早急に調査、体制をとっておかないといけないと思います。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>堺市に出ていてひどい被害です。桜に穴をあけて木が倒れてしまいます。今の状況では抑えきれません。今年まで大阪府側で出ていたのですが、兵庫県の芦屋や西播磨でも出ているので、川西でも今後出ると思います。</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>早期に対応しないといけないと思います。<br/>他にご意見はありますか。よろしければ次の議題に移ります。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>続きまして資料1-2をご覧ください。1-1で出ました今後の方向性について記載されていますが、このまま進めさせていただきたいと思います。生物多様性ふるさと川西戦略評価指標の総括についてであります。以前の資料には自己評価の記述がありませんでしたが、こちら今回、戦略を改訂するにあたり、平成27年度から令和3年度までの施策に対する「自己評価」、「今後の方向性」欄を設けてそれぞれ「A・B」の二段階で示したものでございます。また、評価の右側の欄、「成果と課題」「今後の方向性」につきましては、こちら以前にお渡ししたものと同内容でございますが、一部修正している箇所がございます。<br/>では、評価指標の総括でございますが、全14施策の内、自己評価がA評価(目</p> |

標に向かって事業を実施することができた)が12件、残り2件がB評価(実施できていない)になっています。

基本戦略ごとに見ていきますと、まず基本戦略1「環境教育の充実による「ふるさと川西」意識の育成」、教育保育課担当施策の「児童・生徒を対象とした環境教育の実施」「各環境教育を受けた年間の人数」や「教職員を対象とした研修の実施」「研修を受けた年間の教職員数」では小学生・中学生・教職員を対象とした「環境体験」「里山体験学習」など川西市の自然特性を活かした独自の環境教育を実施しており、毎年かなりの人数が参加していることがわかります。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もAになっています。

ただし、1ページ上の教育保育課担当施策で市立保育所の全園児・保育士を対象とした「各環境教育を受けた年間の人数」欄につきましては、園外での「環境体験」「里山体験学習」の施策が終了しているため、自己評価、「今後の方向性」ともにB評価になっております。今後これに代わる事業を考えていくものであります。

また、その下の段の市立幼稚園の全園児・教諭を対象とした「各環境教育を受けた年間の人数」につきましては、令和元年度まで実施しておりましたので、自己評価はA評価ですが、令和2年度以降は事業が終了しているため、「今後の方向性」はBになっております。

次に2ページ、基本戦略2「自然に関する情報発信による生物多様性保全の普及・啓発」環境衛生課担当施策の「1年間の各HPへのアクセス数」は順調に伸びており、一定の効果があったものと思われます。また、同じく環境衛生課担当施策の「1年間に紹介した自然環境の数」では、広報誌に自然団体に関するイベント等を掲載しております。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もAになっています。

続きまして、同じく2ページ、基本戦略3「生物多様性保全の取り組み強化」、社会教育課担当施策の「1年間の天然記念物の指定件数」では、令和3年度に2件の新規指定を行っており、市指定文化財(天然記念物)の普及啓発、活用を推進していきます。また、産業振興課担当施策の「1年間に捕獲した有害鳥獣数」についても毎年一定数を捕獲・処分しており、成果をあげております。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もAになっています。

続きまして、3ページ基本戦略4「各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大」では、産業振興課担当施策の「1年間に支援したボランティア数」で、毎年一定数のボランティア団体を支援して、里山を含めた森林の整備や保全の活動を継続することができました。また、環境衛生課担当施策の同じく「1年間に支援したボランティア数」でもシンポジウムや展示会等を通じて、これからも継続して支援していく考えであります。これらの施策は自己評価がA評価、今後の方向性もAになっています。ただし、環境衛生課担当施策の「企業、学校などが作成した生物多様性戦略の数」では、各団体が環境の方針に基づいて活動に取り組んでいますが、生物多様性戦略の作成には至っていないため、自己評価がB評価になっております。今後は指標の変更も含めて検討していきたいと考えているため、「今後の方向性は」Bになっております。資料1-2につきましては、以上でございます。

|   |   |
|---|---|
| <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>施策推進<br/>担当員</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> | <p>以上をもちまして、次第4 審議事項( 1 )「生物多様性ふるさと川西戦略第1 期計画の総括について」の説明を終わります。</p> <p>それでは、今の資料1 - 2の説明について、何かご意見などございませんか。</p> <p>「1 年間に支援したボランティア数」は人数ですか。</p> <p>産業振興課で上げさせていただいているのは活動された方の人数、ボランティア団体に所属されている人数です。</p> <p>「企業、学校などが作成した生物多様性戦略の数」とありますが、作成しなさいというような指導はされているのでしょうか。</p> <p>特に戦略を作成してください、というような呼びかけは行っていないのですが、シンポジウムや、団体さんの事業に顔を出したりする交流の中でそういう方向性ができればいいかなという様な活動です。それぞれの企業風土があると思いますので、一律に作れという指導ではなく、この指標については今回ご意見を頂きながら変更できたらと思っております。</p> <p>作成してと言ってもノウハウがなく、難しいと思います。指導しないとできないと思うので出す意味があるかどうかということでご検討をお願いします。</p>   |
| <p>( 2 )「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂概要及び今後のスケジュールについて<br/>【資料2、3、4】</p>           |   |
| <p>委員長</p> <p>事務局</p>   | <p>それでは次に、次第4 審議事項( 2 )「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂概要及び今後のスケジュールについて」、資料2、3、4について事務局よりご報告いただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、次第4 審議事項( 2 )「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂概要および今後のスケジュールについてご説明いたします。まず、「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂概要についてですが、資料2をご覧ください。同戦略は、川西の素晴らしい自然と文化の元になる生物多様性を次世代に引き継ぎ、持続的に利用することを目的に、私たちのふるさとである川西に誇りと愛着を持って、自然や文化、生物多様性の理解を深め、川西総動員で生物多様性を守り、育み、共生する町作りを進めていくためにとるべき行動について提言するものです。この戦略期間は2015年度から2032年度までとなっています。</p> <p>現在、国では「生物多様性国家戦略」の次期戦略案の策定が進められ、兵庫県でも2019年2月に「生物多様性ひょうご戦略」が策定されるなど生物多様性を巡る情勢は変わりつつあります。</p> <p>そのような中、改訂の方向性は、長期的な視点が必要である「生物多様性ふるさと川西戦略」については現在の内容の大幅な変更はせず、現状にあった改訂にとどめ</p> |

ようと考えています。しかし、現在国が策定中である次期生物多様性国家戦略素案に記載がある5つの基本戦略と個別目標に沿った内容とし、SDGsはもちろんのこと、ネイチャーポジティブ、30by30などの要素を取り入れながら改訂を進めていこうと考えています。

続きまして、今後の計画改訂スケジュールについてご説明いたします。資料3をご覧ください。計画改訂の令和4～5年度のスケジュールとなっています。本日審議いただき、アンケート調査につきましては、1月に実施を予定しています。令和5年11月にパブリックコメントを行うことが決定しているため、3回程度生物多様性ふるさとかわにし推進委員会を開催する予定です。内容につきましては資料4をご覧ください。委員会は今後、令和5年の1月、5月、7月の開催を予定しています。審議いただき内容につきましては資料のとおりとなっておりますが変更する可能性がありますので、変更がありました際には改めて報告させていただきます。以上をもちまして、次第4審議事項(2)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂と今後のスケジュールについて」の説明を終わります。

委員長

それでは、審議事項(2)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂概要及び今後のスケジュールについて」、資料2、3、4について何かご意見等ございませんか。

委員

計画改訂に際して、今までの戦略の評価を含めてきちんと整理した方が良いと思います。川西の特色というのは日本一の里山だけでなく、ブナ林があり、絶滅危惧種のエドヒガンが大量に生育しています。それから日本一のまちやま、猪名川があるというように自然環境が非常に整っています。ブナ林があるような市は他にはありませんのでそういったところをしっかりと位置付ける必要があると思います。川西市の体験学習のすばらしさについて、3年生、4年生、5年生というような体験学習が系統化されております。3年生、5年生については兵庫県下全体で進めているようですが、4年生の体験学習があるのは川西市だけです。4年生の里山体験学習の中で川西の自然の重要性を教えるということを行っていますので、素晴らしいです。これをいかに上手く続けていくかの視点が必要だと思います。それから体験学習は学校教育だけではできません。市民の応援がなければいけないということで、人口割にすると市民団体の活動数が川西は圧倒的です。里山自然関係ですが、圧倒的に市民団体数が豊富であり、これをもう少し続けなければならないと思います。

自然環境に目をむけるとシカの食害がひどすぎてブナ林やエゾヒガンがシカにぼろぼろにやられています。これを何とかしないと資産を失うこととなります。さらに地球温暖化が進んでいる中で豪雨が発生しているということで、実際に一庫公園と国崎クリーンセンターの間の山地で大幅ながけ崩れが起きている所が既にあります。そういったものに対するきちんとした評価が必要になってきます。前回も言いましたが、国が森林環境譲与税を出してくれているので、きちんと使って今の川西の現状がどんな問題があるのかを評価した方がいいのではないかと思います。この前、県の委員会がありまして、その時にナラ枯れの発生状況ということで各市

|   |  |
|---|--|
| <p>委員長</p>                                  | <p>町が来たのですが、各市町とも自分の市町の中でナラ枯れがどれだけ発生しているかとかシカの食害がどれだけあるとかいう情報をきちんと押さえているところはほとんど無かったですね。せっかく森林の保全に関してきちんと管理しなさいという予算を貰っているのだから、費用を使って実際どんな現状かをきちんと把握することが大事だと思います。この辺りを踏まえてこれから改訂していけば良いのではないかと思います。</p> <p>今の環境学習に関する部分、ボランティアとの関係、シカの被害、ナラ枯れについて、現状はどうかという総括が必要ではないかというご意見でした。</p>   |
| <p>(3)「生物多様性ふるさと川西戦略」の計画改訂内容について【資料5、6】</p> |  |
| <p>委員長</p>                                  | <p>よろしいですか。他にないようでしたら次の議題に進めたいと思います。つづきまして、審議事項(3)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂内容について」、事務局よりご報告いただきます。よろしくをお願いします。</p>   |
| <p>事務局</p>                                  | <p>それでは、次第4審議事項(3)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂内容について」ご説明いたします。お手元の資料5、6、戦略の冊子をご用意ください。まず、資料5をご覧ください。生物多様性ふるさと川西戦略変更事項についてありますが、これは生物多様性ふるさと川西戦略の現計画において修正が必要と思われる箇所をまとめております。時間の都合上、すべての項目の説明はできませんが、たとえばP5(2)失われつつある生物多様性～生物多様性を脅かす4つの危機～1)人間活動などの直接的な要因(第1の危機)の5行目「新名神高速道路の建設が進められている区域について、」という部分ですが、新名神高速道路はすでに開通しておりますので表記を変更します。また、近年の大規模開発としまして、舎羅林山や石道地区の流通センターの開発が環境に影響を与える可能性があるため明記するといった具合で現計画の改正すべき箇所を記したのが資料5であります。次に資料6をご覧ください。図や表、表記が古い部分につきましては、出典元を確認いたしまして、新しい表示に更新していくものでありますが、その出典元をまとめたものが資料6でございます。今後、この資料を基に確認作業を行っていくものでございます。</p> <p>本日いただくご意見は可能な限り戦略改訂案に反映させていただきます。改訂案は令和5年度5月末頃開催予定の部会にて提示できるよう作業を進めて参ります。以上をもちまして、次第4審議事項(3)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂内容について」の説明を終わります。</p> |
| <p>委員長</p>                                  | <p>それでは、審議事項(3)「生物多様性ふるさと川西戦略の計画改訂内容について」で、何かご意見・ご提案等ございませんか。</p>  |
| <p>施策推進<br/>担当員</p>                         | <p>資料5の4枚目P.28の2) 知明湖活用推進事業について、「龍化溪流地区」を「龍化地区」に変更するということですか。「龍化溪流地区」がっていると思うのですが。</p>   |



|                   |  |
|-------------------|--|
| 事務局               | <p>担当の方でリストアップさせていただきまして、皆様にこの場で意見を頂戴しようと考えておりました、頂いた意見を基に改訂をしようと考えております。</p>  |
| 施策推進<br>担当員<br>委員 | <p>「龍化溪流地区」、「出合なぎさ地区」が正しいと思います。</p> <p>資料6の「出典元無」の意味が分からないのですが、ないということはこれから探すということですか、単にあるなしを書いているだけですか。</p>   |
| アジア航測(株)          | <p>資料6についてですが、まずは計画書の近傍に出典元の記載があるかないかを示しており、「生きもの情報など」ということで一覧になっていると思いますので、これらの中のどれから図表が来ているかを探し出し、新しいデータとなっていれば更新する作業を今後行っていく予定です。ですから出典元が「ない」というのは文献が無いというよりは出典元との紐づけが行われていないという意味です。</p> |
| 委員                | <p>今の図の出典元が分からないということですか。</p>  |
| アジア航測(株)          | <p>大体はアンケートの結果などから用いて作成されているとは認識しているのですが、固有のデータにつきましてはこれから突合する方針です。</p>  |
| 委員                | <p>例えば「表2 川西の確認生物数」とありますが、どこから引用されてきていると思います。「出典元無」の意味が分かりません。</p>   |
| アジア航測(株)          | <p>出典は恐らくあるのですが、文献名との整合ができていないものについて、「出典元無」と記載させていただいております。</p>  |
| 委員長               | <p>出典元がはっきりしていない資料があるということでした。</p> <p>最近、30 by 30、SDGs、OECD など新しい言葉が出てきているので織り込んでいかないといけないかとは思っています。</p>   |
| 部長                | <p>先ほども概要の際に説明させていただきましたが、新しい考えや取り組みが出てきていますので、用語説明なりコラムなりの形で取り入れていく必要はあるかと認識しています。</p>  |
| 委員長               | <p>項目について一つずつ追うのは大変なので、気になる箇所がありましたら発言ください。</p>  |
| 委員                | <p>先ほども言いましたが、生物多様性を最も脅かしているのはシカの食害なので、シカの食害をきちんと押さえるのは絶対大事だと思います。</p>   |

|             |   |
|-------------|---|
| 委員長         | <p>特にシカの問題とその他にアメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメなどをもう少し加えていったらいいのではないかと思います。</p>  |
| 部長          | <p>シカは猟友会にお願いして駆除していただいています。ただ、猟友会の高齢化も進んでおり、駆除をしてくださる方がいない地域もあり、駆除が難しいという現状もあります。他の手段が取れないかとは思っていますが、まだ具体的な案をもっていないというのが現状です。</p>  |
| 委員長         | <p>おそらく川西市単独では難しい部分もあると思いますので、県と相談していくことになると思います。</p>   |
| 施策推進<br>担当員 | <p>産業振興課の方で猟友会との連絡を担当窓口として行っています。シカ害という市北部の地域が多く、南部の地域ではあまりないのですが、北部の地域では何人かが対応して下さっており、年によっては100頭近い駆除を行っていただいております。猟期には狩猟を許されるエリアで、免許を持っている方がとっていただくのと、それ以外には有害の動物だということで許可を得て活動していただく時期に分かれるのですが、猟期につきましても県と連携して捕獲拡大をして、少しでも川西市域の頭数を減らしたいという取り組みはあるのですが、先生方のおっしゃるとおり、頭数が多くなっておりますので、さらなる手立てを考えたいと思っております</p>  |
| 委員          | <p>一庫公園は約50ヘクタールですが、一昨年調査を行ったデータですと、敷地内でシカが30頭程いるという結果でした。雄ジカ3頭で3つ程ファミリーがいるとのことでした。対策としてはエゾヒガンの保護と、クヌギがありますので保全活動にネットやシェルターで何か所かゾーニングを行っています。シカが入って、新芽とかを食べてしまうので、今対策を精一杯行っているのですが、そういう状態は一庫公園に限らず周辺は同じような状態です。</p> <p>シカに限らず外来生物を見つけた際にどうすればいいのか。本人が駆除できれば一番良いのですが、対応について一般市民の方がご存じない。アメリカザリガニとかアカミミガメ、セアカゴケグモ、ヒアリにしてもクビアカツヤカミキリも出てきます。クビアカツヤカミキリで一庫公園にもある桜の木も全滅のスタートになってしまいます。一庫公園の中でも啓発していますが、アメリカザリガニ一つをみても、獲ったらかわいそうだから逃がすという意識を変えられず、なかなか駆除できず、対策も打ちにくいので、具体的な方針を少し取り入れてほしいと思います。</p> |
| 委員          | <p>シカの害は南部にも広がってきております。駆除できるのが一番良いですが、難しいのであれば対策としてシカ柵を地域ごとに設置する等がありますが、大規模な柵は兵庫県下でもたくさん造っていますが、どこも失敗しております。大きすぎてどこかが破れてしまうとそこから入られてしまうということです。最近パッチディフェンスという20メートル×20メートルの柵をたくさん造って、その中で多様</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員長</p>               | <p>性を保全し、シカが駆除できた際にそこから植物を広げる発想があり、実施には森林環境譲与税が使えるので考えてほしいと思います。</p> <p>シカの影響は環境だけでなく災害にもあります。下草がなくなると、土砂崩れの原因となったりするので大々的な対策が必要と考えられます。その辺も盛り込められれば良いと思います。</p> <p>例として、能勢電のケーブルで山側に向かうと、シカの食害で崩れている所があります。また、一庫公園付近でも山が崩れている所があります。そこは元々台場クヌギがあった所なのですが、川西市内で事例として2件あるので、生物多様性だけでなく、「防災と生物多様性」というような新たなキーワードが必要だと思います。また、命の大切さという点で人の命と他の生物の命の大切さが同一で考えられており、文科省の学習指導要領でも記載が曖昧になっています。人の命と他の生物の命は全然違う。人の命のためには他の生物の命の犠牲がある程度必要である、というような教育を行う必要があるかと思います。</p> <p>生態系の維持には数の制限が必要です。一種類が増えすぎると生態系が崩壊します。生態系の安定という点である程度規制しなければいけません。人間も生態系が崩れたら生きていけなくなる。環境教育の進め方について、考えながら進められると良いと思います。</p> <p>カミキリムシなどの外来生物が発生する時期に掲示板にポスターを貼るなど大々的に広報し、注意喚起をする必要があると思います。</p> <p>今度のシンポジウムに標本を用意したらどうでしょうか。</p> <p>公園などに看板を作って知らせるのも一つの手かなと思います。<br/>細かい部分でまだ意見はあると思いますので、これ以降のご意見は改めて環境衛生課に連絡してください。</p> |
| <p><b>(4)「生物多様性ふるさと川西戦略」のアンケート調査の実施について</b><br/><b>【資料7、7-1、7-2、7-3】</b></p> |  |
| <p>委員長</p> <p>事務局</p>  | <p>よろしいですか。他にないようでしたら次の議題に進めたいと思います。<br/>つづきまして、審議事項(4)「生物多様性ふるさと川西戦略のアンケート調査の実施について」、事務局よりご報告いただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、次第4審議事項(4)「生物多様性ふるさと川西戦略」のアンケート調査の実施についてご説明いたします。資料7、7-1、7-2、7-3をご覧ください。戦略第1期の最終年度である2022年度に、戦略に対する市民への認識度や参画意欲の状況などを把握し、「生物多様性ふるさと川西戦略」の見直しを行うためアンケート調査を実施します。アンケート調査は1月～2月に行う第3次環境</p>  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>基本計画アンケート調査と一緒にやる予定でございます。</p> <p>アンケート調査は「16歳以上の市民1200人」と「小学6年生200人」、「事業者100社」に対して行います。それぞれ約10問程度を考えています。設問内容は「生物多様性」という言葉の認識度や「生物多様性ふるさと川西戦略」の認識度、川西市で残したいと思う自然についてなどを考えています。</p> <p>アンケートの回答につきましては紙での回答だけでなくパソコンやスマートフォンなどのインターネット回答もできるようにして、より多くの対象者に回答していただき、少しでも回答率を上げようと考えています。</p> <p>以上をもちまして、次第4審議事項(2)「生物多様性ふるさと川西戦略」のアンケート調査の実施についての説明を終わります。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>それでは、審議事項(4)「生物多様性ふるさと川西戦略のアンケート調査の実施について」で、何かご意見等ございませんか。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>アンケートの対象人数について、根拠はありますか。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>前回のアンケートとの対比を想定しており、前回アンケートの実施人数が市民1200名のため、合わせた形です。企業についてはアンケート実施対象件数を1500件以内に収めると考えた際に、市内に100社程度あるかと考えた結果です。小学生アンケートについては3、4、5年生と環境教育を積み上げてきた6年生を対象に、南部・中部・北部各小学校で100名弱の生徒に聞けたらいいという考えでこの数字になっております。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>無作為に選んだ市民を対象にアンケートを実施するというので、生物多様性について前もった情報があったうえで回答するのであれば良いのですが、唐突に意図や言葉が出てくると分かりにくいと思います。生物多様性についてはよく言われる定義があるので、書いておいた方が親切だと思います。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>アンケートの目的については別紙などに記載し、送るようさせていただきます。</p>  |
| <p>委員</p>  | <p>これ(アンケート)以外のことですが、兵庫県は生物多様性プロジェクトを行っており、委員会に入っているのですが、川西市で5つくらい出ていました。環境衛生課の方で市民団体に働きかけを行ってくださっていると、応募したことは、非常に良いことだと思います。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>以前から実施していることですが、県や各種団体から補助の話が市に来ると、活動団体へ情報提供を行うようにはしています。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>全体の1割くらいは川西のプロジェクトだと思います。とてもいいことです。公園緑地課にお願いしたいのは、JR駅前の公園の台場クヌギが伐採の時期になっ</p>  |

|             |  |
|-------------|--|
| 委員          | <p>ているので伐採して川西池田駅前でも見られるようにしてほしい点です。</p> <p>小学生版アンケートについて、言葉の使い方が難しいと思います。全体的にもっと分かりやすい言葉に変更してください。</p>  |
| 事務局         | <p>表現の仕方については教育委員会にも見てもらいながら考えていきたいと思えます。</p>  |
| 委員長         | <p>表現や用語に関してもわかりやすくしたらどうかと思います。</p>  |
| 施策推進<br>担当員 | <p>駅前の緑化の話は昨年度も挙がっておりまして、予算の関係で実施はできなかったのですが、今年度は実施できるよう考えております。</p>   |
| 委員          | <p>市民団体の方で材がほしいという方がいるので、頼めば対応してくれると思います。</p>  |
| 委員          | <p>学校教育、社会教育の関係で、評価指標で就学前教育（幼児教育、保育教育）について取り組みが終了したとあり、これについて就学前は幼稚園、保育園での環境に関する教育を継続してほしいと思います。特に小学校低学年までの体験学習はできるだけ幼稚園や保育園と連携して参画してほしいと思います。</p> <p>社会教育分野で、一般市民が対象なら公民館活動がメインになってくると思いますが、地域の公民館活動の中に環境の視点をもった、自然を対象とした講座などがもう少しあっても良いのではないかと感じています。社会教育の視点でこのようなことは大事ではないかと思えます。</p> |
| 委員長         | <p>牛尾先生がおっしゃったのは、生涯教育の講座の中に生物多様性の分野を作っただけなら、ということですね。</p>  |
| 委員          | <p>各公民館には地域性がありますので、そのような点も加味した公民館活動があれば、交流もできますし、地域の良さを発信できると思いますので考えていただけたらと思います。</p>  |
| 事務局         | <p>環境衛生課は直接事業を行ってはいないのですが、声掛けなどで協力できればと思います。資料1-1の中で社会教育の方でも今後環境教育の視点を持って取り組むと記載がありますので担当課もそのような認識でいると考えております。</p>   |
| 委員長         | <p>生物多様性に関しては環境の部署だけでなく、現場をもっている公園などの部署との連携をしながら進めていかないとうまく行かないと思いますので、ぜひ機会をつくっていただきたいと思えます。</p>   |

|         |   |
|---------|---|
| 委員      | <p>植物や鳥、動物についての情報は集まるのですが、水生生物に関する情報、特にため池についてがなかなか集まりません。そのような活動を行っているグループは川西市内にありますか。</p>   |
| 事務局     | <p>把握しているのは、牛尾先生のところで水生生物の観察を行ってくださっているのと虫生川周辺の自然を守る会さん、流域ネット猪名川さんなどですが、ため池については把握できておりません。</p>   |
| 委員長     | <p>よろしいですか。これですべての審議事項が終了しましたので他にご意見がないようでしたら、ここで司会を事務局にお返しします。</p>   |
| 司会（事務局） | <p>武田委員長どうもありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和4年度第2回川西市環境審議会部会 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会を閉会いたします。本日はお忙しい中どうもありがとうございました。</p> <p>次回の推進委員会では各課に実施するヒアリング結果についてと評価指標の改訂案についてご意見を頂きたいと考えております。令和5年の1月下旬頃に予定しております。1、2か月前には日程調整をしたいと考えております。追ってご連絡させていただきま</p> <p>すので、委員の皆様よろしくお願いいいたします。</p> <p>ここで事務連絡といたしまして、車で来庁された方には駐車券をお返しいたしますので、お席でお待ちください。その他の方はお帰り頂いて構いません。</p> <p>本日はお忙しい中どうもありがとうございました。お忘れ物の無いように、くれぐれも気を付けてお帰り下さい。</p> |